

2019年度 CSIS 共同研究

No. 675

# 都市観光地における観光地マネジメントの課題解決と再構築に向けた地域・観光動態研究

## 報告書

2019年05月

### 研究代表者

東洋大学 国際観光学部/准教授/杉本 興運

### 共同研究員

首都大学東京都市環境学部観光科学科/特任助教/矢ヶ崎太洋  
高崎経済大学 地域政策学部 地域政策学部 地域づくり学科/講師/太田 慧  
首都大学東京 都市環境学部 //菊地 俊夫  
首都大学東京 都市環境科学研究科 //洪 明真

### CSIS教員

相 尚寿

## 2019 年度共同研究報告書

### No. 675： 都市観光地における観光地マネジメントの 課題解決と再構築に向けた地域・観光動態研究

研究代表者：杉本興運

本研究プロジェクトでは、東京都市圏にある都市観光地において現在の観光地マネジメントの課題解決や今後の再構築を進める上での戦略立案に必要な地域・観光動態に関する総合的研究を実施する。そのための重要な調査として、地理情報システムを応用した対象地の社会、経済、自然・都市環境および観光客の行動動態の時空間分析や地理的視覚化を実施する。事例として東京都の上野において各種の調査を行なった。2018 年度を最終年度とする予定であったが、追加調査の依頼により 2019 年度を最終年度とすることにした。主に以下に示す研究活動を行なった。

#### 【観光地としての発達過程に関わる地域動態の研究】

観光地としての発達過程を知ることは、将来的な観光地としてのビジョンを設定する上でも重要である。これまで、観光連盟、商店街組織、文化施設などとの連携により、上野の観光地としての発達や現在の観光地マネジメントの現状について、聞き取りや統計データによる調査を行なってきた。それらの結果をまとめ、上野地域の歴史の編纂を行い、上野観光連盟の70周年記念史を制作した。それは70周年式典などにて数百名へ配布された。また、これまでの活動報告をまとめ、首都大学東京の紀要にて発表した。